

# NARITA

NO. 36

# 市議会だより

発行/成田市議会 編集/成田市議会だより編集委員会 〒286-8585 成田市花崎町760 Phone 0476-20-1570(直通) Fax 0476-24-0336



▲夏の風物詩“成田祇園祭”今年も7月8日(金)～10日(日)に開催され、中日の朝JR成田駅前に各町の山車・屋台が集合し出囃子披露の後に総踊り

## 6月定例会市議会のあらまし

平成17年第2回定例会市議会は、6月3日に招集され6月23日までの21日間の会期で開かれました。

定例会市議会の初日には助役の定数条例制定など19議案が上程されました。一般質問は6日から8日まで13人の議員が登壇して行われ、9日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

22日には、辞職に伴う正副議長選挙、最終日の23日には常任委員会、特別委員会等の委員の改選と正副委員長の選挙が行われ、上程された全議案は原案どおり可決し、閉会しました。

### 主な内容

- ☆可決された議案の概要……P 2～4
- ☆正副議長就任……P 3
- ☆特別委員会から……P 4～5
- ☆8氏に議長会表彰……P 5
- ☆一般質問から……P 6～13
- ☆各委員会の正副委員長決まる…P 14
- ☆コーヒータイトム……P 14



成田市

## 【6月定例会市議会の日程】

期 日	内 容
6月3日(金)	本会議 (開会、会期の決定、全議案一括上程審議)
6日(月)	本会議 (議案に対する質疑、一般質問)
7日(火)	本会議 (一般質問)
8日(水)	本会議 (一般質問、議案に対する質疑、委員会付託) 総務常任委員会
9日(木)	新清掃工場建設特別委員会
10日(金)	空港対策特別委員会
13日(月)	教育民生常任委員会
14日(火)	新駅・まちづくり特別委員会
15日(水)	経済環境常任委員会
16日(木)	建設水道常任委員会
17日(金)	総務常任委員会
22日(水)	本会議 (会議録署名議員指名、全議案審議、正副議長選挙)
23日(木)	本会議 (正副委員長等選挙、追加議案上程審議、閉会)

# 24議案を可決・同意・承認 助役の定数条例の制定など

6月の定例市議会では、条例の制定及び一部改正案件8件、補正予算関係案件2件など19議案が審議され、いずれも原案どおり可決・承認されました。また、追加上程された人事案件4件も同意されました。さらに、議員から提出された発議案1件も可決されたほか、議会に寄せられた陳情2件は不採択となりました。

## ●可決された 議案の概要

上程された議案は、各常任委員会に付託され審査が行われた後、22日の本会議で可決されました。

### 総務常任委員会

▼成田市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例を制定するについて

【内容】地方自治法の一部改正を受け、平成18年4月から指定管理者制度を導入するための手續等に

ついて定めようとするもの。

#### 【主な質疑】

問 280を超える施設のうち、17種217施設が対象予定とのことだが、現在の職員と雇用の関係、継続性はどのように考えているか。  
答 主なものとして、国際文化会館、開発協会があるが、民間との競争原理が生まれるため、体質強化・改善を図っていかななくてはならないが、3年間は公募をせず現状の体制で考えている。

▼成田市火災予防条例の一部を改正するについて

【内容】消防法の改正により、住宅の関係者が住宅用防災機器として、防災警報機または防災報知設備を設置し、維持することについて規定するもの。

#### 【主な質疑】

問 民間会社等で売られている火災警報器の性能はクリアできているのか。

答 日本消防検定協会が品質保証するNSマークが付いているものであれば、クリアできている。

▼専決処分の承認を求めるについて（成田市税賦課徴収条例の一部を改正するについて）

【内容】地方税法の一部改正に伴い、個人住民税の人的非課税範囲・給与支払い報告書提出対象者範囲の見直し、証券税制の改正及び固定資産税における住宅用地の特例を適用する措置を講じようとするもの。

▼専決処分の承認を求めるについて（成田市都市計画税条例の一部を改正するについて）

【内容】地方税法の改正に伴って生じた不整合部分を修正するため、必要な措置を講じようとするもの。  
▼字の区域及び名称を変更するについて

【内容】芝山町岩山の一部を東三里塚に変更するもの。

▼専決処分の承認を求めるについて（平成16年度千葉県成田市一般会計補正予算（第6号））

【内容】財政調整基金を財源として老人保健特別会計への繰出金を8千500万円増額補正するもの。  
▼成田市助役定数条例を制定するについて

【内容】成田市が抱える重要課題を迅速かつ適切に対処できるように助役を二人とする条例を制定しようとするもの。

#### 【主な質疑】

問 助役二人にした場合の役割分

担は。

答 一人は企画政策部、総務部、市民部、保健福祉部等を、もう一人には空港対策部、生活安全部、環境部、経済部、土木部、都市部等の担当を考えている。

▼成田市収入役の事務の兼掌に関する条例を制定するについて

【内容】地方自治法第168条第2項の規定に基づき、条例を制定しようとするもの。

#### 【主な質疑】

問 収入役は、現行法上は10万人以上の市では必要要件である。来年の合併により、成田市は人口10万人以上となることが明白であり、今回廃止しても、再度、収入役を置かざるを得なくなると思うが。

答 収入役の廃止については、行財政改革の精神の面からも、また、地方分権の面でも、その廃止に向けた法改正の流れにあるので、国への働きかけを強め、柔軟な判断ができればと思っている。

▼特別職の職員及び教育長の給与の特例に関する条例を制定するについて

【内容】平成17年7月1日から平成19年4月26日までの期間に限り、市長、助役、水道事業管理者及び教育長の給料月額について5%の引き下げを行うとともに、調整手当の支給率を現行の10%から7%に引き下げを行うため、条例を制定しようとするもの。



▲NSマークのついた火災報知器



▲7月1日オープンした“三里塚コミュニティセンター”

### 教育民生常任委員会

▼成田市三里塚コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例を制定するについて

【内容】平成17年7月1日から供用開始する三里塚複合施設の名称を「三里塚コミュニティセンター」と定め、適正な管理を行うため条例を制定するもの。

【主な質疑】

問 多目的ホールを利用するうえで、営利を目的とした場合は貸さないのか。演劇や映画などの催しの際に入場料を徴収する場合はどうか。また、減免の措置は。

答 営利を目的として使用する場合は制限するが、使用目的、内容等に違いがあるため考慮して判断したい。

▼成田市公津の杜小学校屋内運動場及び児童ホーム新築工事（建築工事）請負契約の締結について

【内容】平成18年4月の成田市立公津の杜小学校の開校に向け、屋内運動場及び児童ホームを建設しようとするもの。

【主な質疑】

問 談合情報どおりの結果になったが、教育委員会の考えは。また、三里塚小の講堂のm単価より高いのでは。

答 教育委員会としては、業者選

定にかかわっていないが談合はなかったものと考えている。単価については、鉄骨の値段が三里塚小講堂発注の時と比べ約1・7倍に上がったため。

問 児童ホームとセットで建てる利点は。

答 単独で設置するより駐車場、校庭の有効利用が図られ、学校との共有部分があるためコストダウンが図れる。

▼市有財産の取得について（成田市立久住中学校用地）

【内容】成田市久住駅前土地区画整理事業地内の保留地を新しい学校用地として取得するもの。

▼専決処分承認を求めらるについて（平成16年度千葉県成田市老人保健特別会計補正予算（第2号）専決第4号）

【内容】老人保健における診療報酬に係る医療給付費に不足が生じることが見込まれたことから、8千500万円の増額補正を専決処分したもの。

## 岩澤 衛 議長、 上田信博 副議長が就任

加藤議長、平良副議長の辞職に伴い、議長、副議長の選挙が6月22日に行われ、新議長に岩澤 衛議員、新副議長に上田信博議員が選出されました。



岩澤 衛 議長



上田信博 副議長

この度、6月の定例市議会におきまして、私どもは議員各位のご推挙を賜り、議長、副議長に就任することとなりました。誠に身に余る光栄であり、衷心より感謝申し上げます。次第でございます。

同時に、その責務の重大さを痛感しております。

今日、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しています。成田市におきましても下総町・大栄町との合併、成田空港の完全空港化問題、新清掃工場の建設、さらには少子高齢化、環境保全等、今日的な課題が山

積しており、自治体の意思決定機関としての市議会の果たす役割は非常に重大であり、市民から寄せられる期待もますます大きくなっていると言わざるを得ません。今後も成田市が均衡ある発展を続けるためには、慎重かつ積極的な対応をしていかなければならないと考えております。

議員一同手を携えて、市民の負託に応えるよう、誠心誠意努力いたす覚悟でございますので、何とぞ市民のみなさま方のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

### 建設水道常任委員会



▲国道51号から見た工事中の“こ道橋”

▼成田市計画道路3・3・4郷部線新設工事に伴う成田線成田駅構内12k300m付近こ道橋新設工事委託契約の締結について

【内容】郷部線とJR成田線交差点部分のトンネル内装工事とボックスカルバートの築造工事の委託契約を締結しようとするもの。

### 経済環境常任委員会

付託された議案はありません。

### ●人事案件

▼固定資産評価審査委員会委員の選任の同意を求めるについて

（細矢正雄）

【同意】

▼固定資産評価審査委員会委員の選任の同意を求めるについて  
〔大木 和〕  
〔同意〕

▼固定資産評価審査委員会委員の選任の同意を求めるについて  
〔滝沢繁夫〕  
〔同意〕

▼助役の選任の同意を求めるについて  
〔三谷千秋〕  
〔同意〕

▼助役の選任の同意を求めるについて  
〔根本一彦〕  
〔同意〕

▼固定資産評価委員の選任の同意を求めるについて  
〔三谷千秋〕  
〔同意〕

▼監査委員の選任の同意を求めるについて  
〔若澤貞男〕  
〔同意〕

●その他案件

▼千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について  
〔可決〕

▼千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について  
〔可決〕

●発議案（議員提出の議案）

▼成田市議会委員会条例の一部を改正するについて  
〔可決〕

●陳情の審査結果

▼サービス利用の制限など介護保険の改善を求める陳情書  
〔不採択〕  
▼国民健康保険制度の改善・充実を求める陳情書  
〔不採択〕

# 特別委員会 から



## 空港対策 特別委員会

執行部から成田ナンバーについての報告があり、3月定例会終了後、千葉県、国土交通省並びに関東運輸局に対し、要望活動を実施し、5月末の締め切りまでに、全国20地域から各運輸局に要望が行われ、実際に認められるのは、数カ所程度とのことでした。

次に、成田空港問題の経緯について、昨年11月の北側国土交通大臣の成田空港視察後の暫定平行滑走路の2、500メートル化の問題等について報告がありました。

空港会社は努力をしているが、成田市としても、本来計画での平行滑走路の完成はもろろんのこと、東峰地区の環境の悪さなどから何とか守ってあげたいと、市長みずから出向き、地権者の方々と話し合いを行っているとのことでした。次に、成田国際空港株式会社から、成田空港の回顧と展望につい



▲成田ナンバー推進のポスター

て、民営化初年度を振り返っての運用実績並びに決算、また、今年度の経営計画の説明がありました。

〔主な質疑〕

問 全国で数カ所の中に入るには、かなり情熱的なアピールをしなければならないいけないと思うが、対策は。

答 署名活動の他に、商工会議所観光協会、タクシー業界等にもご協力をお願いし、趣意書を国に提出している。また、エリアの市町

村長にもお願いし、要望活動を行うなど、様々な働きかけをしてきた。

問 着陸料の引き下げ基準について。

## 新駅・まちづくり 特別委員会

執行部から平成17年3月定例会以降の成田新高速鉄道及び北千葉道路について成田新高速鉄道新駅周辺まちづくりの動き及び状況について報告がありました。

次に、昨年の9月以降から3月の委員会で報告したニュータウン北駅周辺の整備計画と土屋駅周辺整備の考え方を基本とした「平成16年度都市計画策定委託事業報告書」を取りまとめ、報告がありました。

〔主な質疑〕

問 国道408号と北千葉道路の交差点付近に芦田の2倍から2倍半という産廃が埋め込まれていることを把握しているか。

答 産廃が埋まっていたということは大変残念なことと思う。県に協力をしながら成田市としての対応を考えていく。

問 土屋駅は請願駅で設置する方向に向っているのか。

答 その方向だが運行主体である



▲土屋に請願駅を

京成電鉄、施設所有者の成田高速鉄道アクセス株式会社（NRA）、成田空港高速鉄道株式会社（NKI）との協議ができていない。

問 駅の設置についてはスケジュールを逆算したうえで調査や打ち合わせを進めていくべきでは。

答 事業の優先順位について協議が必要であるが、成田市としては、従来どおり取り組みを進めており、具体的な調査や調整についても努力していきたい。

問 国道408号の拡幅についての具体的計画が示されるべきではないか。

答 県に対して具体的計画図面の提示を求めている。

問 空港との道路の接続に関する状況は。

答 関係機関に要望しているが残念ながら現状で具体的な案はない。

## 8氏に議長会表彰

永年にわたり、地方自治の発展と市政の進展に尽力された功績により、馬込勝未議員、加藤武夫議員、岩澤 衛議員、平良清忠議員、石渡孝春議員、上田信博議員、小池正昭議員、油田 清議員が全国・関東・千葉県の各市議会議長会から表彰されました。

《議員在職30年》



馬込勝未 議員

《議員在職10年》



加藤武夫 議員

《議員在職10年》



岩澤 衛 議員

《議員在職10年》



平良清忠 議員

《議員在職10年》



石渡孝春 議員

《議員在職10年》



上田信博 議員

《議員在職10年》



小池正昭 議員

《議員在職10年》



油田 清 議員



▲リサイクルプラザ隣の建設予定地

ルを進めること、新聞・段ボールを別の分別にしては」との意見が、また、余熱利用として「温泉施設、温水プール、または保養センター、リハビリ施設、地元農産物直売所等々」の具体的な要望があったとのことでした。

【主な質疑】

問 成田市と富里市の負担割合の74%と26%はごみ総量の比率としているが、広域の場合、一般的にごみ総量の比率で負担割合が決まるのか。

答 広域の場合、前例では、経費の変わらない部分は均等割も組み合わせられている。今現在、負担比率は、過去5年間の可燃ごみの量的比率で調整をとっているが、施設そのものの内容が決定していない段階なので、前段はごみ量で見ても、その後、負担比率を見直すことを基本協定に入れてある。

問 平成27年の推計人口は12万7千人とあるが、合併による人口増は考慮されているのか。

答 合併人口は入っていない。平成15年に作成した整備構想の中で過去の人口増加傾向から推計して、独自に算定したものだ。

問 この報告書から請願駅をつくらうという意思が見えない。我々議員が全員で署名し運動してきたことがどこにも生きていない。

答 強い意思を表明し、その努力をしているのでご理解いただきたい。

## 新清掃工場建設 特別委員会

平成17年5月24日に開催した委員会について、執行部から新清掃工場整備事業の進捗状況についての報告があり、富里市との基本協定や機種選定委員会の枠組みについて、基本協定書並びに細目協定書(第1号)を締結することで最終合意となったとのことでした。

次に、6月9日に開催した委員会について、新清掃工場機種選定

委員会についての報告がありました。

5月24日の委員会で説明のあった機種選定委員会設置要綱について、再度富里市と協議した結果、新清掃工場機種選定委員数を2名増加し17名以内とし、成田市議会議長推薦の成田市議会議員を4名以内、富里市議会議長推薦の富里市議会議員を3名以内に変更したとのことでした。

次に、パブリックコメントの結果について報告があり、「広報なりました」及び成田市のホームページ

に掲載し、4月1日から5月6日までの間にパブリックコメントを募集したところ、24通の意見があり、その主なものは、「ビニール・プラスチック類は、焼却の方がよいのではないか」、「焼却灰の再利用として、灰溶融設備の整備、インターロッキング等をつくらう」と。

また、「民間委託を前提とし、専門知識、経験等が重要」との指摘があり、「水質調査あるいは観測井戸、ダイオキシン等の分析結果の開示を」との要望もあり、さらに「ごみを減らすこと、リサイクル

## 一般質問から



一般質問は、市長などに市政全般について疑問点や方針などをただすものです。

6月定例会市議会では13人の議員が質問に立ちました。

議会だよりに掲載されている内容は、会議録を抜粋したものです。詳しくは会議録をご覧ください。閉会后、約2ヵ月で市役所行政資料室市立図書館、公民館図書室でご覧いただけます。

### 観光振興と 発達障がい者支援について

内山 健 議員

**問** ①来訪者の減少傾向が続いている現状を観光の振興という視点からどのように考えているか。

②観光振興基本計画の各事業を進める中で、関連の予算や担当部局の組織体制について拡充する考えはあるか。

③観光交流空間づくりモデル事業等の国の観光施策があるが、どのように活用し連携しているか。現在も継続実施されている国際観光モデル地区事業の進捗状況とその効果は。

④印旛沼周辺の自然資源を生かした観光資源の形成として、自然資源を魅せる拠点施設整備、観光客

を受け入れる基盤整備の推進の考えは。また、ミニバス導入の実施時期は。観光振興基本計画には大変多くの事業が計画をされているが、今後この事業を推進していくための体制をどう考えているか。

**答** ①来訪観光客の大半を占める社寺参詣客の高齢化が進み、来訪回数が減少していることにあると考えられます。減少傾向の改善のためには、成田山新勝寺等を中心とした歴史的観光資源の活用だけではなく、成田空港や印旛沼等を新たな観光資源ととらえ育成・強化することにより、観光客が回遊・滞在できる観光振興策に取り組み

ていきます。

②施策を実施する期間として5年間を目安とした短期のものと、10年間を目安とした中期のものとの区別をしていますので、これらの施策の進捗状況により、予算や組織の拡充を判断します。

③「ひたちとふさのジョイントアツプ・プロジェクト推進会議」に参画しており、観光案内ガイドブックの作成などを行っています。国際観光モデル地区事業としては、韓国での国際観光展への出展や旅行社社等の招請事業により、観光客誘致の成果が現れています。

④拠点施設整備の具体的な内容や町中を回遊するミニバスの導入計画は、今後、この基本計画を進める中で、関係機関と検討を重ねながら実施計画を作成のうえ、具現化していきたいと考えています。

**問** ①発達障がい者への支援の現状と取り組みへの考え方について、就学前児童への対応、学校現場での取り組み、医療機関との連携の見解を。

②「発達障害者支援法」が4月1日から施行されたが、この法律の施行に伴い保育現場や学校教育の場でどのような取り組みが行われるようになるのか。

**答** ①支援会議を開催し、保健・福祉・教育の各分野の関係者で発達障がいや知的障がいのある子どもへの支援について共通理解を深め

ています。自閉症等、障がいを理解するための研修会もいろいろな機会に開催されていますので、医療機関関係者にも参加をいただき、障がいについての理解が得られるよう努めます。各学校においては、特別支援教育コーディネーターを中心として全校支援体制づくりに努めています。

②研修会の実施や児童生徒の教育的ニーズに応じた教育支援体制の確立を構築しています。法の趣旨、概要等を周知しながら、今後とも「発達障害者支援法」の趣旨に沿って特別支援教育の推進、研修等の充実を図り、早期発見、早期対応に努めていきます。

### 道路ネットワークと 情報格差是正について

小池 正昭 議員

**問** 現時点でいまだ一度、都市計画道路のあり方や過去にも何度となく話題となっている空港環状道路など主要道路ネットワークについて、他の関係機関との連絡調整や再検討を要する時期ではないかと考えるが、見解を。また、空港環状道路・放射状道路についての現在における成田市としての位置付けや隣接自治体との構想の整合など、どのような状況か。

**答** 都市計画道路や空港環状道路などの主要道路ネットワークを構築していくためには、周辺自治体や国、県など関係機関が協同して取り組みべき課題として認識しています。時代に即した広域的な道路ネットワーク構築のために、関係機関と連絡調整をしていきます。また、空港環状道路・放射状道路は、空港の潜在的なポテンシャルを活用し、地域振興を図るうえで

も周辺市町村を含めた広域的な道路整備が重要と考えています。

**問** 情報格差是正について。

①情報化戦略の中でケーブルテレビをどのように位置付けているのか、またケーブルテレビの全市普及計画が行政側から叫ばれなくなってきた現在の現在、全市普及計画の存在そのものについての見解は。

②行政主導での情報媒体の整備が行われなかったことよって、市民の間には確実に情報格差が生じていることは十分認識されているものと思う。当面の情報化戦略を示し、各地域がどのように計画的に整備されていくのか、具体的に市民に対して示す必要があると考えるが。

**答** ①技術革新には目覚ましいものがあり、今や各家庭にパソコンが普及し、必要に応じて高速回線



▲成田市のホームページからも情報取得が

でホームページから情報をいつでも得られるなどの環境が整いつつあります。また、成田市は平成17年末には地上デジタル放送が開始されるエリアとなつてきているなど、情報伝達手段が多種多様となつてきています。一方、ケーブルテレビ認可区域内における既存サービスエリアの加入率の向上及び未整備地区の解消、また2町との合併による市域の拡大を踏まえると、今後は、現在の認可区域の充実を図るため、支援をしていくことが必要であり、ケーブルテレビの全市普及については見直しの時期にきているものと考えます。新市における情報化計画の中で、位置付けについては、再度検討が必要であるものと認識しています。

②市民の方々が等しく情報を共有できるよう、今後はケーブルテレビを含め技術革新が進む中で、活用可能な情報媒体を利用して住民の方々に情報提供を行つていく手段の検討と、地域の情報拠点として公共施設の整備を進めたいと考えています。情報格差是正策として、平成16年度に高速回線による公共施設のネットワーク化の整備

### 教育を

## やわらかい発想で考え直すと

海保 茂喜 議員

を行い、17年度は情報拠点化の充実と位置付け、情報公開端末を公民館全館と他の公共施設に設置し、だれでも気軽にインターネットを利用できるようにすることを予定しています。

神的な負担について。

①救急車の出動件数抑制のための施策について、見解を。

②病院間搬送の見直しとプレホスピタルケアの現状とその取組みを。

答 ①深夜の通信勤務の変更や救急隊員の入れ替えなどを行い、精神的な負担の軽減に努めています。広報媒体や救急講習を初めとする諸行事の中で、正しい利用方法を啓発し、救急の重要性を認識する環境づくりに努めています。

②医師または看護師1名が同乗した場合においても、原則3名の編成で出動しています。今後、ハラメディック方式の根幹となる救急救命士の育成や全隊に高規格救急車を配備するなど、プレホスピタルケアの充実に努め、早期救命に応える体制づくりに努力します。



▲3人編成で出動する救急車

出されたものを可能な限り資源としてリサイクルすることを目指して、減量器具等の設置費の補助及びリサイクル運動の推進など各種施策に取り組んでいます。②学校での研修の際に、教職員の意識の向上を図るよう指導、助言しています。身近な環境への興味関心を高め、自然を理解し、その環境保全を考えることが、環境改善につながることを児童生徒に伝えていけるよう、一層の推進に努めます。

から、市町村が地域包括支援センターを設置し、地域支援事業として公正中立の立場から総合相談等の支援のほか、予防プラン作成などの介護予防マネジメントを行うこととなっています。

問 循環型社会形成に向けた自治体のごみ減量について。

①総合的な施策体系の構築に向けた自治体戦略のあり方の見解を。

②ごみゼロを目指した環境教育・学習について、見解を。

答 ①ごみや資源として排出されるものを抑制すること、また、排

問 今求められる地域に根ざした空港とは、市民、特に残された東峰地区地権者の安全はだれが守るのか、そして国に対してどの立場で進めていくのか。

答 何とか劣悪な環境から生活を守ってあげたい、あるいは守ってあげなければならぬものと考えています。暫定平行滑走路の2、500メートル化は、本来計画どおり整備されることが最も望ましいと考え、幾度となく地権者の方々を訪問し、話し合いを続けています。

## 成田市の公共事業をめぐる醜聞と産廃処分場建設問題について

足立満智子 議員

問 成田市の公共事業をめぐる醜聞について。①美郷台小学校新築工事に係る設

計図書の中の1枚が、事前に外部流出しました。あつてはならないことなので徹底説明を求めました

次ページに続く

※1 救急患者が病院に着く前の処置のあり方。

※2 特別の訓練を受けた救急隊員が、現場で医師とほぼ同等の医療行為を行う方式。

が、調査結果について説明を。  
 ②公津の杜小関連の新築工事で談合情報とおりの業者が落札しました。また、利権がらみの市政攻撃が後を絶ちません。市長の所見を。

答 ①設計図書等の取り扱いについては、十分に注意するよう指導していかにもかわらず、実施設計業務委託をしている設計事務所から設計図が流出してしまいました。この設計事務所に対し、成田市の措置としては、指名審査会で指名停止措置基準に基づいた協議を行ったうえ、厳しい対応をします。

②いたずらに市政の混乱を招くとともに、個人を陥れようとする中傷的で非常に悪質なものと考えています。今後、このような事態を招かぬよう、入札制度改革に前向きに取り組んでいきます。具体的には、制限付一般競争入札を実施すべく現在準備中です。制度の改革を進めながら、入札にかかわるすべての不正行為等が排除され、透明で公平が保たれるよう努めていきます。

問 千葉県の許認可による産業廃棄物処分場建設問題について。

①去る5月、千葉地裁木更津支部は住民から出されていた富津市田倉に計画中の安定型最終処分場建設差止めを認める判決を下しました。安定5品目といえども有害物質の混入は不可避という理由でし

た。成田市内にも県許可による同種の安定型産業廃棄物処分場があります。現状と今後の計画について。  
 ②産業廃棄物関連は、都道府県の許認可に属するものですが、何か事あるにつけて住民が相談したり駆け込んだりするのは地元の自治体です。市町村職員に対し廃棄物の処理及び清掃に関する法律と千葉県残土条例に基づく立ち入り検査権の付与や監視活動中に着帽するグリーンキャップも貸与しています。地元自治体として、現在進められている対応策は。



▲産業廃棄物の最終処分場

答 ①市内の現状として、産廃処分場は7カ所あり、すべて安定型であり、そのうち5カ所は事業が終了し、稼動中が芝地先に1カ所稼動していませんが、菅田地先に自社物の処分場が1カ所あります。また、現在大室地先に埋立容量約43万立方メートル、事業期間10年間の安定型処分場が計画されており、千葉県産業廃棄物処理施設の設置及び維持管理に関する指導要綱に基づく事前協議が千葉県知事へ提出され、これに伴い市長への意見照会がなされています。

②千葉県から市職員の廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定による立入検査権並びに千葉県産業廃棄物の処理の適正化等に関する条例の立入検査権が付与されています。これにより施設等へ調査を行い、早期の情報把握に努めるとともに必要に応じて千葉県への通報を行い、状況に応じた指導、勧告等を要請しています。千葉県との連絡調整を一層密にするとともに、市民のみなさんと行政が協働して監視していくことが不適正処理等に對し有効的な方策と考えています。

## 学校の安全をいかに守るか

伊藤 竹夫 議員

問 学校の安全をいかに守るかについて。  
 ①小中学校、幼稚園、保育園につ

いての防犯対策の現状を。  
 ②みずからが活動する地域のボランティアによる防犯活動の見解を。



▲授業中は校門を閉めて不審者の侵入を防ぐ

③防犯と都市設計・ハードからの防犯について。

④被害防止教育と地域安全マップそして、犯罪者の実像をとらえて多少でも具体的な対策の方向性が必要だと思うが、見解を。

答 ①保育園では安全な保育をするために事故防止対策マニュアルを作成し、保育事業に関する園児の安全対策を行っています。児童生徒の登下校の安全対策としては、各学校での安全指導はもとより、PTA、地域住民のみなさんや関係団体と連携した巡回パトロール、ミニ集会等を実施しています。  
 ②保護者や地域のみなさんの協力連携のもと、集団登下校の実施、校外パトロールの強化、通学路の安全状況の定期的な点検等を行っています。

③生活安全部を中心に各部門との連携を含めて取り組んでいます。

小学校の各教室への警報装置の設置、並びに小学校児童、教師及び中学校女子生徒の希望者に防犯用ブザーの貸与を実施しています。また、防犯用「さすまた」や各学校で工夫した防犯用具をそろえています。  
 ④児童生徒の安全確保に対する緊急対応マニュアルを作成し、毎年見直しを図りながら安全管理に努めています。各学校では校舎内への出入り口の施錠の強化、防犯教室や児童生徒参加の不審者侵入対応避難訓練の実施など、防犯教育の充実にも努めています。また警察等関係機関との連携を図る中で、事件発生時に市内の各小中学校、保育園、幼稚園へ速やかに連絡が行えるようネットワークが整備されています。

問 市町村合併と新成田市の行政改革について。  
 ①市町村合併を進めていく中で、北総地区のリーダーとしての基本をつくり上げ、行政改革の最大のチャンスととらえるべきだと思いが、今後の行政改革をどのように推進していくのか。  
 ②市町村合併の進展により、地方への税源移譲が進むものと思われ、地方が名実ともに国と対等になる機会になっているという自覚のもとに、子どもや孫の時代に夢のある自治体を目指し、地方から発信すべき時だと思いが、見解



を。  
 ① 成田市第4次行政改革大綱を策定し、地方分権社会にふさわしい市民の視点に立つた行政運営を目指し、その推進に取り組んできました。最小の経費で最大の効果を上げることが目標に、現在、成田市第5次行政改革推進計画の策定作業を進めているところで、新市においても、より一層簡素で効率的な行政運営を目指し、

将来にわたり安定した行政サービスの提供に努めます。  
 ② 国際空港所在都市として国政、県政において重要な位置を占めている状況等もありますが、市政が住民に一番身近な場所での行政であるとの立場から、国や県に対しても主張すべきところは主張し、協調協力すべきところは協調協力を惜しまないという態度で臨みたいと考えています。

## 子育て支援について

小山 昭 議員

問 少子化社会の中で、出産、育児の補助制度等、整備が不十分であることは認めざるを得ません。そこで、小児慢性特定疾患研究事業の見直しに対する救済署名運動が行われていますが、3点お尋ねします。

- ① 成田市難病疾患見舞金事業について、どのような基準に基づいて見舞金を支給しているのか。
- ② 小児慢性特定疾患の対象の患者はどのくらいいるのか。
- ③ 難病疾患見舞金事業に係る事業費はどのくらいか。

答 ① 千葉県小児慢性特定疾患治療研究事業の対象となっている児童の保護者並びに千葉県特定疾患治療研究事業等の対象となっている患者のみなさんに対し、成田市難病疾患見舞金支給規則に基づき

見舞金を支給しています。  
 ② 平成17年3月末現在、小児慢性特定疾患の方が914人、特定疾患等の方が335人、合わせて1,249人となっています。そのうち小児ぜんそくの方は767人で、さらに15日以上入院されている小児ぜんそくの方は3人です。  
 ③ 見舞金に係る事業費は、平成16年度決算で約7,550万円です。

問 全国的に増加の傾向にあるぜんそく疾患者に対し、国は医療助成対象者を1割に近い範囲に狭めました。そこで、ぜんそく等小児慢性特定疾患医療費助成事業について3点お尋ねします。  
 ① 平成17年度の見舞金支給事業はどうなっているのか。  
 ② 患者数数の大半を占めている慢

性呼吸器疾患での新たな認定基準になると、90%以上の患者さんが見舞金支給事業の対象から除外されることになるが、見舞金支給事業をどうするのか。

③ 市単独で小児慢性特定疾患医療費助成事業や難病見舞金事業に取り組み調査、研究を進めている自治体があるが、見解を。

答 ① 小児慢性特定疾患を持つ患者に対する安定的な制度とするため、児童福祉法を改正し、法律に基づく制度として位置付け、あわせて制度の改善・重点化を行いました。対象疾患に慢性消化器疾患を加え、すべての疾患群において入院、通院にかかわらず事業の対象とするなど、対象範囲を拡大する一方、所得に応じた一部自己負担の導入や対象疾患の認定基準を定めました。その結果、対象の重点化では、小児ぜんそくを対象疾

患から除き、より重度症状のある人のみを対象とする慢性呼吸器疾患とし、平成17年4月1日に施行されました。この改正を受け、見舞金の対象者を小児ぜんそくから慢性呼吸器疾患に改め、慢性消化器疾患を加え、引き続き小児慢性特定疾患患者のみなさんに見舞金を支給することとしました。  
 ② 平成17年度から乳幼児医療費助成制度の通院にかかる対象年齢を1歳引き上げ、対象を4歳未満児としました。このことにより、広く小児ぜんそくを含めた乳幼児の医療費を助成し、乳幼児の保健の向上及び子育ての支援体制の充実を図りました。  
 ③ 市単独事業において、小児ぜんそくにかかる医療費助成や見舞金支給の取り組みについては、先進事例等を参考に調査、研究します。

## 成田空港完全化と少子化問題について

尾形 英司 議員

問 成田空港完全化の早期実現について。

暫定平行滑走路がオープンして4年目に入り、国はジャンボ機の発着のできる2,500メートル滑走路の整備を条件に2007年度の株式上場を考えているが、現状では無理。今まさに成田国際空港の存亡がかかっている。市長の

見解を。  
 答 暫定平行滑走路は、本来計画どおり整備されることが最も望ましいと考えており、幾度となく地権者の方々と訪問し、空港問題解決の理解を得るべく話し合いを続けています。

問 少子化問題について。

① 成田市の子育て支援策は。  
 ② 成田市が策定した次世代育成支援行動計画の特徴は。  
 ③ 幼稚園予算を増やすべし。

答 ① 平成9年度に子育て支援事業として赤荻保育園に青空ゆめひろばを開設以来、保育園開放、福沢論吉記念子ども館の開設、一時保育事業、保育時間の延長、年末保育事業、児童ホームの午前中開放、保健福祉館におけるちびっこ広場等、子育て支援の施策を積極的に展開しています。  
 ② 延長保育を午後9時まで実施する保育園を1カ所、休日保育を2カ所の保育園で実施し、さらに、病院等で保育する施設として2カ所の開設を考えています。  
 ③ 園児1人あたり5千円を園児補助金として補助していますが、見直しについては前向きに検討します。また幼児教育振興費補助金を



▲次世代育成支援行動計画で子育て支援

幼稚園に交付してはいますが、今後さらに預かり保育に対し検討していきます。

**問** 障がい者福祉のあるべき姿について。

**答** ①「障害者自立支援法」案が国会で審議中だが、成田市の取り組みは。

②障がい者の雇用について、千葉県「障害者差別禁止条例」制定に対し、成田市はどう取り組もうとしているのか。

③知的障がい者入居のために、古い平屋の市営住宅を中層に建替え等、市営住宅を増やせないか。

**答** ①「障害者自立支援法」案がまだ審議中という状況の中で、円滑な制度移行を行い、障がい者のみなさんが地域社会の中で、安心して生活できるよう努力したいと考えてます。

②障がい者雇用の促進については、関係機関と連絡を密にし、民間企業にご理解とご協力をお願いしたいと考えてます。

③制度見直しの趣旨に沿い、地域

福祉における支援体制の一環となるよう前向きに検討していきます。また、戸数の確保については、市営住宅ストック総合活用計画の策定の中で検討します。

**問** 学校の安全について。

①学校の安全はどう守れば良いか。  
②校庭を開放し、子どもの遊び場の確保ができないか。  
③校舎の新改築を機に、教室を地域に開放できないか。

**答** ①不審者対策については、学校ごとに緊急対応マニュアルを作成し、見直しを図りながら安全管理に努めています。

②校庭での遊びの状況については、通学区の広さや下校時の安全面への配慮の必要性等、各学校の実情に応じながら対応しています。  
③現在でも学校施設については一般開放していますが、新設校については、地域に開放できるように整備し、また、屋内運動場の新築時に地域開放ができる会議室を整備しています。

## 障がい者への1割負担撤回を

馬込 勝末 議員

**問** 「障害者自立支援法」案の問題について。

利用料の1割負担については、障がい者福祉を後退させる内容と

なり、定率負担はすべきではない。今回の改革では、障がい者施策の実施主体が都道府県と分かれていたものが市町村に一元化されるこ

とになる。成田市としての対応は。  
**答** 1割の自己負担については、緩和措置が提案され、「障害者自立支援法」案は、今まさに国会で審議されている状況であり、法案成立後の政省令を待つて具体的な施策の検討を進め、また、サービス内容については、法案の詳細を待つて検討し、障がいのある方の自立支援に向け施策を展開したいと考えてます。

**問** 新しいごみ焼却場の建設問題について。

①パブリックコメントで市民の多くは、附帯施設として温水プール、温浴施設を望む意見だった。成田市は、こうした市民要望にどう応えていくのか。

②新清掃工場において処理する廃棄物は、2市の一般廃棄物及び2市の条例で認める産業廃棄物とある。新焼却場では産廃を処理しないよう明確にすべき。

③機種選定にあたり、爆発事故もおきている灰溶融炉の是非についても十分検討すべき。

④機種選定委員会設置要綱には、委員が企業との接触をする際は、市長の許可や事後報告を求め一文が入っている。市長や議員も同じような厳しい対応をすべきでは。

**答** ①これまでのごみ処理施設のマイナスイメージを払拭できるような新清掃工場を目指す一方で、余熱利用施設については、ごみや



▲路線バス廃止地区を走るコミュニティバス

性の確保が必要であり、機種選定委員会の委員にも十分なご理解とご協力をお願いしたいと考えてます。

**問** 循環バス、コミュニティバスについて。

4月から久住方面、遠山方面のバスの実証運転が始まり、利用者は予想以上に多く、それだけ要求も強かったこととされる。実証運転の経過を参考に、さらに改善をして欲しい。その中で、この4月から路線バスが廃止された滑河線、成田市では水掛から宝田までの間が空白になり、バスの運行を求め要望が出されている。また、路線バスが廃止された南三里塚の対応についてどう考えるか。

**答** 運行開始から2カ月が経過しましたが、三里塚及び大室方面から市街地への買い物や通院、また通勤、通学などに利用されています。現在、5月に実施した利用者アンケートの結果を取りまとめているところであり、こうした要望を総合的に検討しながら親しまれるコミュニティバスの運行を目指します。また、旧滑河線の復活については、市民等から運行要望もあり、関係機関との調整が終了次第、早期運行を目指します。南三里塚地域の運行については、在来路線との競合や影響問題があり、引き続き協議したいと思えます。

③現状では、国として市町村に義務化をしていますが、今後の新清掃工場計画が具体化する中で、様々な角度から検討していきます。  
④新清掃工場の建設は大型公共事業という側面もあり、また、廃棄物処理という特殊な技術や機能の導入、公害防止や安全対策などの十分な配慮等も考えると、法令遵守の徹底、関連する手続等の透明



# 介護保険制度改革、地域防災、学校の安全について

水上 幸彦 議員

**問** 介護保険制度改革について。

① 予防重視の新介護予防事業に対する今後の取り組みについて。

② 負担増について、低所得者層に対する軽減措置はどうか。

③ 介護サービスの基盤整備のあり方について。

**答** ① 国を挙げて介護予防の重要性、またサービスの質の向上が求められており、今後、新予防給付の動向や市民の意見等を勘案したうえで方向づけを行っていきたいと思います。

② 今回の改正では、在宅と施設の利用者負担の公平性を確保するとしています。低所得者の方については、今回の制度見直しにおいては、利用者負担の軽減が図れるよう、きめ細かな配慮が行われるものとなっております。

③ 独居高齢者や認知症高齢者の増加、在宅支援の強化、高齢者虐待の防止といった観点から、要介護者等の住みなれた地域での生活を支えるため、小規模介護老人施設、小規模で介護専用型の特定施設、認知症高齢者のためのグループホームやデイサービス、小規模多機能型居宅介護施設、夜間対応型訪問介護施設などによるサービスを地域密着型サービスとして創設して

いくこととなっております。これらを市町村が生活圏域単位で必要整備量を定めることで、基盤整備が計画的に整備、促進されることとなります。

**問** 地域防災について。

① 自主防災組織の現状について。

② 防災に対する住民意識の向上について。

③ 今後の地域防災のあり方について。

**答** ① 成田市では、現在35の区・自治会に組織されており、資機材の整備や訓練の充実を図るとともに、組織率の向上に努めたいと考えています。

② 市民、事業所などに対しては、「広報なりた」への掲載や防災フェア、総合防災訓練の開催、また、地域における防災講話に積極的に参加をして、災害の知識や災害時の行動など、防災意識の向上に努めています。

③ 地域に根ざした自主防災組織が、消防団を初めとする地域コミュニティとの連携を深めることにより、地域における防災力の一層の強化が図れるものと考えます。

**問** 学校の安全について、学校へ



▲地域の防災を担う消防団

の不審者侵入防止の観点から3点質問します。

① 成田市の学校安全対策の現状について。

② 今後の安全対策について。

③ 国も文部科学省と警察庁が連携して、地域の力を活用して安全を

## 多発する少年犯罪の対応と住民サービスについて

穴倉 勲 議員

**問** 多発する少年犯罪について、

成田市として、少女たちの救済、犯罪の未然防止のためにどのような対応、対策をしているか。また、子ども相談室の開設等、学校現場での指導、対策は。

**答** 全国的に刑法犯罪が多発傾向にあり、私たちの身近な場所でも犯罪が発生し、治安の悪化が憂慮

確保すると言っていますが、成田市の考え方は。

**答** ① 校門の扉には注意看板を設置するとともに、出入りの都度開閉しています。さらに、学校では校舎内への出入り口の施錠の強化、防犯教室や児童生徒参加の不審者侵入対応避難訓練の実施など、防犯教育の実施に努めることともに、警察等関係機関と連携したネットワークが整備されています。

② 学校ごとに実態に応じた独自の緊急対応マニュアルが整備されており、この中で万一に備えた対応策が定められ、訓練も実施されていますが、より実効性の高いものとなるよう見直しを図っていきます。

③ 安全な学校づくりのためには、今後、警察との連携をより一層深めるとともに、地域との連携も充実させたいと考えています。

されています。このような状況のもと、犯罪を未然に防止するとともに、犯罪の起こりにくい環境づくりを目指して、行政と関係団体等が綿密に連携した防犯活動を推進しています。少年非行等に対する予防的な観点での啓発や教育相談活動の充実、さらに関係機関との行動連携のもと、学校の生徒指

導体制確立のために支援していきます。

**問** ご当地ナンバー、成田ナンバーの申請をされているが、自動車検査登録事務所の誘致はできないか。

**答** 自動車検査登録事務所の誘致は困難な状況にありますが、まず成田ナンバー創設に全力で取り組み、その後に状況を見極めながら、関係機関との協議をします。

**問** 市民サービスの一環として、旅券、パスポートを成田市で申請、取得することができないか。

**答** 現状においては、近隣に設置されています佐倉市の北総県民センター等を利用していただき、今後の電子申請手続の進展を見据えながら、旅券事務所の誘致について関係機関と協議します。

**問** 「1地区1スポーツ広場」との市長の思いは、成田市スポーツ健康都市宣言をされた現在、どのように計画が立てられているか。

**答** スポーツ活動は健康で活力に満ちた豊かな生活を送るうえで、大きな役割を果たすものとして、ますます重要になっていきます。市民が身近で気軽に利用できるスポーツ広場については、1地区1スポーツ広場という原則は、今も変わりません。今後とも恒久的な施設としての用地の確保に向けて、さらなる努力をします。



▲河川整備計画中の江川

**問** 私の住んでいる江川が今、大変悩んでいます。  
堤防は、柵もつけずそのままなのか、途中のポケットパークの設置はするのか、するとしたら何か所か。消防用水と兼ねる段差は幾つつけるのか。橋のつけ替えは何カ所あるのか。  
**答** ポケットパークについては、初井戸橋付近及び新江川橋付近の2カ所を予定しており、その内容については、ベンチ及び植樹工、階段等の設置を考えています。段差工については、池袋橋付近を予定しており、全体としては河川縦断を考慮し4カ所を計画しており、河川環境に配慮して実施しています。橋については、川幅が大きくなるため、池袋橋の上流3カ所のかげ替えを河川整備にあわせて計画しています。

## 障がい者福祉と 成田市の情報発信について

上田 信博 議員

**問** 障がい者福祉について。

①障がいをお持ちの方の確認、在宅で障がいをお持ちの方の就労問題、地域福祉振興助成制度による福祉サービスの充実等について、現在の状況とあわせて在宅者への支援の現状は。  
②障がい者自立支援プログラムについて。

**答** ①保健福祉館内に定員19名の精神障がい者通所授産施設あじさい工房を設け、平成15年7月には保健福祉館敷地内に簡易マザーズホームを移転しました。障がい者雇用は厳しく、養護学校高等部卒業生の一般就労も難しい状況が続いています。知的障がい者通所授産施設のぞみの園では、希望する複数名の利用者と職員が企業に通い、作業する園外授産の試みを実施しています。

②資格法案であり、「障害者自立支援法」によるサービス内容は、法案成立後の政省令によるところが多く、その点が厚生労働委員会での議論の中心をなしています。「障害者自立支援法」案は、いまだ国会で審議中であり、個々の施策内容が明らかになっていない部分もあります。障がい者の自立支援のための方策について研修し、



▲大雨警報や地震などの防災情報をメールで配信

また取り組んでいきます。

**問** 情報発信について。

①緊急時の情報発信として、現在は防災無線を使って情報伝達が行われていますが、携帯電話のメール機能を使った緊急情報伝達システムについて、現在の状況は。  
②消防本部から消防団への出動連絡体制は、現在はどうなっているのか。  
③小中学校と児童生徒・保護者の連絡網について、携帯電話のメール機能を使った学校情報配信システムは、学校から保護者に短時間で連絡できる方法として注目を

されているが、見解を。  
**答** ①停電や通信回線が一時的に途絶した場合でも対応できるように、防災行政無線を整備し、連絡手段の確保を図っています。パソコンや携帯電話のメール機能を活用した情報提供ができるようシステムの整備と体制づくりを進めるため、市職員を対象に試験運用を開始したところです。  
②災害時における消防団への出動連絡は、ポケットベルを利用して署への出動指令と同時に、消防団部長以上へ自動的に災害種別、災害住所、出動する消防団のブロックなどを一斉配信するシステムで連絡をしています。多数の動員力を有する消防団に頼るところは大

## 観光と地域の振興と 少子化による教育問題

神崎 利一 議員

**問** 観光と地域の振興について。  
①坂田ヶ池周辺について、観光面からと地元とのさらなる振興のための考えは。  
②成田観光館や登録有形文化財に指定された大野屋旅館を、成田山とも縁の深い歌舞伎や能などの稽古場として貸し出し、多くの方々に見に来ていただくのはどうか。  
③三里塚公園の駐車場を大型バス対応に整備し、さらに何か付加価値をつけた公園とすることで、立ち寄りやすい場所として確立でき

ばと思っているが、成田市の取り組みは。  
**答** ①観光の面からは、パンフレットでの紹介や観光モデルコースに盛り込むなど集客に努力をしており、地元振興については、公園整備にあたり用地等多大なる努力をいただいた地元へ、公園管理の一部をお願いしています。公園周辺では、来園者を対象にした地元の方や野菜等の販売を行っており、今後、既存施設の活用の中で公園利用者に利便を供与するともに

大きく、発生時における出動は欠かすことのできないもので、消防団に迅速かつ確実に伝達できる方法として導入したものです。  
③学級ごとの連絡網を作成しており、不審者情報など緊急の連絡が生じた際には、担任から電話による発信をしています。学校と保護者間における学校情報配信システムの進捗状況については、児童生徒の安全に係る学校での緊急情報を迅速かつ正確に伝達する新たな手段として有効であると考え、校長会でシステムの概要や有効性について説明しました。今後は、学校とも意見を調整し、他市の状況等も勘案し、さらに検討を進めま

地元利益をもたらすような施設運営に努めていきます。

②成田観光館を十分に活用するには、どのような機能を持たせることが有効かについて検討していません。日本の古きよき伝統、文化に触れる機会としての活用や市民活動の場としての活用などを含め、参道の活性化の一役となる効率的な運営について検討します。

③地元区から過去2回要望をいただき、この要望に沿って改修基本計画を策定し、平成15年度にトイレの建て替えを実施しました。三里塚公園は、貴重な成田市の観光資源であることを認識していますので、今後、順次整備を進めていきたいと考えています。

**問** 少子化による児童数減と学校間の格差解消について、児童生徒数の減ってきている小中学校の統廃合をどのように考えているか。

**答** 統廃合については、それぞれの学校がその地域のコミュニティにとって重要な役割を果たしており、特に小学校においては、通学距離や安全確保が問題となるため、直ちに保護者や地域のみなさんのご理解を得ることは困難と考えます。通学区域の弾力化や様々な可能性について、学区審議会などに諮りながら検討していきます。

**問** 成田赤十字病院のサービス向上のため、市役所職員を派遣し、

病院内部から意識改革に取り組みというのは。

**答** 市民病院的病院として位置付



▲風土記の丘の一角にある“坂田ヶ池公園”

けをしている中、苦情が見受けられることは遺憾に感じています。市民が成田赤十字病院を信頼し、安心して医療を受けることができると、満足を実感できるような病院へとみずから変化することが重要であると考えていますので、成田赤十字病院運営協議会での協議を重ねるとともに、全職員の意識改革を図れるよう、職員の接遇研修制度のあり方や信頼向上策について、成田赤十字病院に要望していきます。職員派遣については、信頼される病院づくりにみずから取り組む姿勢が重要と考えていますので、現状では必要に応じて協議を重ねつつ、病院がどのように改善していくのかを見守っていきたいと考えています。

## 私立幼稚園各種補助事業の拡充を

大倉富重雄 議員

**問** 行政改革について伺います。①総務省は、平成17年3月29日、地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針を策定し、地方自治体に通知しました。この新指針に基づき平成17年度中に集中改革プランを策定する考えはあるか。

**答** ②経費節減としてIP電話の導入を検討できないか。

**答** ①平成17年度を初年度とする成田市第5次行政改革推進計画の

中で、指針に示された地方公共団体における行政の役割の重点化や定員管理、給与の適正化等の推進についても、目標の数値化や指標化に努め、住民にわかりやすい形で公表してまいります。

②平成21年に向け、前向きに調査検討します。

**問** 「障害者自立支援法」における手話通訳者事業について伺います。

国会では、「障害者自立支援法」案の本格的な審議が行われていません。この法案が成立した場合、

①手話通訳者の公的派遣を実施する考えは。

②手話奉仕員養成事業を実施する考えは。

③手話通訳者の身分保障を確保できないか。

**答** ①手話通訳の公的派遣を引き続き実施するが、その費用負担は国会審議を見守りながら検討します。

②手話通訳事業の充実には、その担い手である手話通訳者や手話奉仕員の養成が不可欠と認識しており、内容の充実を図り実施します。

③先進市の動向を調査、研究します。

**問** 私立幼稚園各種補助事業の拡充について伺います。

①少子化対策として私立幼稚園の支援について市長の見解は。

②私立幼稚園就園奨励費補助金に上乗せ補助の考えは。

③園児補助金の増額を。

④幼児教育振興補助金の増額や防犯対策の充実をするための事業や預かり保育への補助を検討する考えは。

⑤幼稚園の内容を載せた情報誌を作成してみてはどうか。

**答** ①幼稚園は、生涯にわたる人間形成の基礎を育む就学前教育の場として重要な役割を担っている

と認識しています。引き続き私立幼稚園を行政として支援していくという方向性は変わらないものと考えます。

②国が定めた階層区分と補助限度額に従って補助を行っており、今後も現行どおり実施します。

③この補助金は、園児1人あたり一律5千円を保護者を対象に補助するもので、少子化対策の観点から前向きに検討します。

④施設設備費については、防犯対策の強化という点もあり、見直しについて検討課題とし、預かり保育に對しては、今後の利用者数の伸びや他市の動向を見ながら支援策について検討したいと考えます。さらに、協会補助は、幼稚園協会の今後の活動状況について十分協議したうえで適切に判断します。

**問** 施設白書の作成について伺います。

成田市は施設整備の推移や施設コストの現状をしっかり把握し、今後の施設の改修、改築経費などの予測、施設整備のあり方をまとめて市民に公表する必要があると考え、施設白書の作成を提案する。

**答** 今後の効率的な施設管理と計画的な保全等に資するものとして、先進事例等を参考に研究します。

# 各委員会の正副委員長決まる

6月23日に、常任・特別委員会、議会運営委員会、議会だより編集委員会の各委員の改選が行われ、新委員と正副委員長が決まりました。

特別委員会	
空港対策	<p>副委員長 彦一 勝稔 昭忠 衛明 夫男 治</p> <p>委員 幸利 俊 正清 高貞 貞富</p> <p>上崎 間平 池良 澤宮 保澤 川</p> <p>水神 加瀬 谷小 平岩 宇都 海岩 越</p> <p>委員長 青野勝行</p>
新駅・まちづくり	<p>副委員長 昭一 博夫 子春 雄昭</p> <p>委員 昌 竹満 智孝 重富</p> <p>山藤 木藤 立渡 倉邊</p> <p>小伊 荒伊 足石 大渡</p> <p>委員長 宍倉 勲</p>
新清掃工場建設	<p>副委員長 喜清 等博 健未 夫嗣</p> <p>委員 茂 照信 勝武 善</p> <p>保田 嶋田 山込 藤川</p> <p>海油 村上 内馬 加小</p> <p>委員長 尾形英司</p>
議会だより編集委員会	<p>副委員長 子喜 彦司 忠</p> <p>委員 智茂 幸英 清</p> <p>満保 上形 良</p> <p>立保 上形 良</p> <p>足海 水尾 平</p> <p>委員長 上田信博</p>

常任委員会	
総務	<p>副委員長 博喜 彦子 稔博 明</p> <p>委員 荒海 水足 谷上 宇都 宮</p> <p>木保 上立 平田 宮</p> <p>俊幸 満智 信高</p> <p>委員長 小川善嗣</p>
教育民生	<p>副委員長 俊 勝昭 清勲 雄未 治</p> <p>委員 加瀬 間山 田倉 倉込 川</p> <p>小油 穴大 馬越</p> <p>委員長 小池正昭</p>
経済環境	<p>副委員長 一夫 司春 行男</p> <p>委員 神伊 尾石 青岩</p> <p>崎藤 形渡 野澤</p> <p>委員長 村嶋照等</p>
建設水道	<p>副委員長 一忠 衛夫 夫昭</p> <p>委員 伊平 岩加 海渡</p> <p>藤良 澤藤 保邊</p> <p>委員長 内山 健</p>
議会運営委員会	<p>副委員長 雄昭 等昭 健嗣 昭男 治</p> <p>委員 大倉 山嶋 池山 川邊 澤川</p> <p>小村 小内 小渡 岩越</p> <p>委員長 石渡孝春</p>

9月定例市議会は、9月2日(金)開会予定です。  
 ☆☆☆☆☆  
 「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、議会事務局へ。  
 電話(20)1570直通  
 ファクス(24)0336

M・A  
 さらにこれからの10年を考えると、少子高齢化社会に見合った社会・経済システムの構築や、混迷を深める世界の中で共に生きる道を探っていくなければなりません。政治の行方を決めるのは私たち主権者。過去に学びつつ、未来を拓く役割を語り合いませんか。

毎年8月になると戦争の惨禍が語られてきました。今年は敗戦60年。語り続けられた言葉を次世代に伝える責任を感じます。10年ひと昔といいますが、この10年、日本の政治・経済・社会は大きく変化しました。こういう時代だからこそ歴史の教訓を活かすことの大切さを考えたいものです。戦争の悲惨さを忘れず、敗戦を機に憲法で決めた民主主義や平和主義、人権の保障を守るために。

